

令和元年度第3回鎌ヶ谷市図書館協議会会議録

- 1 開催日時 令和2年2月14日（金）午後2時00分～午後3時15分
- 2 開催場所 鎌ヶ谷市立図書館3階保育室
- 3 出席者
 - (1) 委員 太田直美委員長 濱口貞美委員 片山ふみ委員
小林久子委員 滝本はる恵委員 齊藤日出雄委員
成毛美保委員 箭田川淑美委員
 - (2) 事務局 岩松生涯学習推進課長 谷口図書館長
川田主事補 館野（再任用）
- 4 傍聴人 なし
- 5 議題
 - (1) 令和2年度図書館運営方針（案）について
 - (2) 令和2年度事業計画（案）について
 - (3) その他

【審議内容】

委員長 まず、会議の議事録署名委員は、名簿順に成毛委員と箭田川委員に
お願いする。それでは、議題の「令和2年度図書館運営方針（案）」
について事務局より説明をお願いしたい。

事務局 ……配布資料に基づき説明……

委員長 ただ今の説明に関して、ご質問、ご意見があればお願いします。
委員 運営基本方針の中で、促進と推進の表現があるが、この違いは何か。
事務局 精査して、表現を整えるようにする。
委員長 では、精査していただければと思う。
委員 主要施策の（5）の分館の充実とあるが、具体的には何があるか。
事務局 分館はただ本を貸出だけでなく、公民館と連携し、チャレンジな
ど事業を展開している。また、機能の充実として分館のパソコンでネ
ット検索ができない状況であるが、これを見直して、市民の皆様のレ
ファレンスにお答えしようと検討する。

委員 平成25年に鎌ヶ谷市立図書館運営に関する意見書として協議会が提案したものがあがるが、最近分館を訪れる機会があり以前視察した時とあまり変わりがなかった。レファレンスに力を入れてくださるといふ事だが、大変良いと思う。そして、以前との違いは人がいた。やはり高齢者の方だった。図書館の狭いところで新聞を読んでいた。公民館の明るく外の景色も見えるロビーは、がらんとして空いていた。こういう場を利用できないか検討してほしい。

事務局 はい。ありがとうございます。

委員 主要施策(3)の表現に図書学校配達とあるが、図書だけでいいのか、資料という表現がいいのではないか、配達というのは、団体貸出サービスと同意語なのか、違いがあるのか。

事務局 図書学校配達は資料という表現にする。図書学校配達は来年度から始める事業だが、団体貸出はこれまで学校が取りに来ていたが多量になり届けてほしいという要望が上がっていた。そこで量の多い時には図書館が配達するという事になった。

障がい者等への図書資料郵送宅配サービスは、その名称があるので使わせてもらった。表現については検討していく。

委員長 学校は大変助かるということで喜んでる。

委員長 では、次の「令和2年度事業計画(案)について」事務局より説明をお願いしたい。

事務局 ……配布資料に基づき説明……

委員長 ただ今の説明に関して、ご質問、ご意見があればお願いする。

委員 ボランティアの養成・発掘に対する事業が読み取れないが教えてほしい。ブックリストの作成のところに対象が市民となっているが児童に配っているのか。

事務局 ボランティア養成については、年間3回読み聞かせ講座を開催し、学校でボランティアをやらしてもらえないかという意味合いもあり開催している。春と秋と冬と読書週間の時に展示と、ブックリストを作成し、全員に配る数ではないが児童に配っていただけるよう学校にお願いしている。

委員長 では、対象に児童も入っているということで、検討をお願いする。

委員 ボランティアをやってみたいという人が、どうしたらいいかと相談されたが、広報等で募集はしていないのか。

事務局 募集の対象は、学校の保護者の方にはしているのですが、そちらにチラシをお配りしている。広報には載せていない。希望者は図書館にご連絡していただければ、「おはなしのつばさ」さんにつなげる。

委員 以前は初心者には図書館員が講座を開催していたが、今はないのか。

事務局 確認します。

委員 ブックスタートの目的にブックスタートのボランティアがやっていることが記載されているが、この中に入れるのか。

事務局 目的となっているが、内容も触れているので入れておきたい。

委員 学校図書室となっているが、現在は学校での名称が学校図書館となっているのでそちらがふさわしい。

対象に中学生が少ない。中高生の読書離れが進んでいるので、もっと考えたほうが良い。

事務局 YA！ヤングアダルト新聞、ヤングアダルトコーナー（ヤングアダルトとは13歳から19歳の世代のこと）で情報を発信しているので、計画の中にも入れていきたい。

委員長 市内の高校2校あるのでその辺と連携を行っていくといい。

委員 鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略は平成31年度までとあるが、これは終わりか。

事務局 市の方でも、大きな事業なので引き続き来年度も続けていくことで事務手続が進んでいる。決定すれば表現が変わる。

委員 表現の違いで子ども劇場とクリスマスで人形劇や絵本の読み聞かせと絵本の読み聞かせや人形劇で主体となる物が違うのか。

事務局 はい。

委員 行政支援サービスはなにがあるのか。

事務局 ご指摘のように行政サービスを活発に行っている図書館もあるが、当市は来年度に調査研究を行い進めていく。

委員長 今後の検討課題ということで進めてほしい。

委員 公民館と分館の連携とは何か。

事務局 公民館のまつりの時に分館は創作活動を行っている。図書館を知り、利用してもらうということでチャレンジを開催し参加している。

委員 目的の中に点がついて表現されているところがあるが、意図があるのか。統一したほうが良い。

事務局 具体的な内容を点で表している。

委員長 表現は検討してほしい。

委員 ボランティアの発掘ということがあるが、やりたい人をどう発掘し、養成していくのか、という事を図書館でもっと働きかけられないか。

また、活動できる場も考えたい。

委員長 何かやり方のアイデアがあったら、お願いします。

委員 松戸市のやり方は、読み聞かせボランティア養成講座がある。市民全体に募集している。ボランティアだけでなく、孫に読み聞かせてあげたいという人も来る。児童読書活動推進センターが主催で進める。

委員 江戸川区では、図書館が養成した人を学校からの要請で派遣すると聞いている。

委員長 いろいろアイデアが上がったので参考に考えてほしい。

委員 ボランティア研修と読み聞かせ講座が別々のところに（１）児童の読書意欲への応援と（５）生涯学習センター・公民館との連携と分館の充実に入っているがこの違いは何か。

委員 これは目的が違うのでこのままでいい。

委員 運営方針について、主要事業（４）他機関との連携の表現が分かりにくい。文章を２つに分けた方がいい。

委員長 運営基本方針は変えないで表現を統一していただき、主要施策の（４）他機関との連携は文章を２つにし、分かりやすくしてもらおう。

委員長 来年度の事業はこのように進めてもらうということをお願いします。そのほかあるか。

委員 赤ちゃんの登録の時に配布する資料を図書館が作ってくれている。ブックスタート時に配布するのだが、以前何か工夫できないかという提案に応じてもらえた。ボランティアをやっていてとても嬉しい。

事務局 ブックスタートで配布しているのは、昨年度は３７７件あった。
（健康増進課で把握している絵本配布者は７６８人）

委員長 以上をもって本日の図書館協議会を閉会とする。

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため、次に署名する。

令和2年 2月 28日

署名人 箭田川淑美 印

署名 成毛美保 印